



SOEI Group の底力

社長メッセージ

「人」こそ全ての源泉。
誇りを持って仕事に打ち込み、
社会インフラの安心・安全を
支えてまいります。

代表取締役社長 **若山 圭介**



当社グループ事業母体の双栄基礎工業株式会社は、1977年の創業以来、地盤改良工事の専門業者として、インフラや建物の工事現場における安心・安全を支援することで、お客様のニーズにお応えするとともに、広く社会に貢献してまいりました。

2015年に株式会社サナースを傘下に収め、SOEIグループを形成。地盤改良工事の業務領域を拡大し、さらなる企業価値の増大を進めるために新たなスタートを切りました。また、2019年には株式会社レガリスを傘下に加え、労働者派遣事業に本格参入し、グループの事業拡大を図りました。

建設業を営む企業において、その成長のカギを握るのは、言うまでもなく「人」です。人口減少が進む我が国では、同時に少子化と高齢化が急速に進展しており、産業界では人手不足が大きな経営課題として浮上しております。特に建設業界は就業者の高齢化と若手の人材不足が顕著であり、厳しい経営環境にさらされております。

かつて建設業界でも、人材過多によりリストラが横行しました。しかし、当社はそうした状況下にあっても人を減らすことなく、受注確保と経営努力によって乗り切りました。

幸い当社グループは、一時的な利益を追求するためのリストラを否定し、人材を企業活力の源泉としてきたため、人材不足問題には陥っておりません。むしろ、人材不足の問題は、近年高まりを見せる自然環境保護や防災減災意識、老朽化したインフラの維持・管理ニーズなどと相まって、当社グループにとっては大きなビジネスチャンスだと捉えております。

将来は、グループの成長と安定経営はもちろん、建設関連技術者・技能者のステータスを向上させたいと考えております。ステータスが上がれば、働いている人の誇りも高まり、人材も集まってきます。技術者・技能者のステータスを向上させることが好循環を生み、会社の成長を後押しすると考えます。

SOEIグループは、これからも「働く人と会社が共に成長し、ステークホルダーにとって価値のある企業になる」というビジョンを目指し、地球エンジニアリング企業として社会に貢献してまいります。

世界に安全と安心を

私たちは、

「地球エンジニアリング企業」です

SOEIグループは、建設業界にあって地盤改良工事を中心に事業を展開しています。地盤改良工事は、道路や上下水道、交通機関などのインフラをはじめ、建築の工事現場で、地盤や工事そのものの安心・安全を担保するために行われています。地盤改良工事は、構造物を支える土台であり、社会に必須の技術であります。SOEIグループは、地盤改良工事、修繕維持・補修を通じて、広く社会に貢献しています。



地下鉄

路上から掘り進める開削工事では、土留壁背面に薬液を注入することで地下水の侵入を防ぎ、底盤には、高圧噴射工法でセメントを混ぜることにより地盤強化を図ります。シールド工事は、周辺構造物や路面への沈下防止対策等として採用されています。



高速道路

支持地盤確保のため、深層混合処理工法（セメント系）により軟弱地盤を改良します。また、トンネル等の掘削機が発進・到達する立坑周囲の地盤強化や、高圧噴射攪拌工法等により、地盤全体を改良し支持地盤とする目的に採用されています。



空港

空港用地は埋立地が多く、間隙水及び土質にバラツキが多い粘性土地盤では不同沈下が生じる要因となります。また、空港用地は平坦性を求められますので、安定した地盤にする目的で地盤改良が取り入れられています。



港湾

港湾の地盤は軟弱であることが多く、地震や波等による地盤の崩壊防止、液状化防止、圧密沈下の軽減などを目的に地盤改良工法が採用されています。海洋土木においては、欠かせない工法の1つです。



トンネル

トンネルには様々な用途があり、新幹線、道路、地下トンネルなど多様なトンネルが使われています。ほとんど止水注入を目的に、主に補助工法となっています。トンネルの出入口の地山補強や、トンネル背面の空洞充填などにグラウト注入工法が採用されています。



橋梁

橋梁の橋台や橋脚等の基礎下の改良杭に用いられ、構造物を支えます。支持方式は、支持杭と摩擦杭に分けられ、支持杭では先端を支持層に到達させ、摩擦杭は地盤と改良杭の摩擦力により、それぞれ構造物の荷重を支えます。

“地盤改良”って何？

軟弱な地盤を強くし、安心・安全な建造物と工事を支援

建造物の地盤として十分な強さがない地盤を軟弱地盤と言いますが、地盤改良は軟弱地盤に対して、地盤強度の増強、地盤・構造物の沈下・変形の軽減、地盤掘削時の湧水軽減、地震時の抵抗力付加などを目的に行います。また、汚染土壌の無害化や封じ込めのために行われる

こともあります。地盤改良の方法には、土を入れ替える「置換」、水抜きにより間隙を埋める「圧密・排水」、密度を増大させる「締固め」、薬液やセメントで固める「固結」、動かないように拘束する「補強」があり、SOEIグループでは固結工法をメインに行っています。



長年にわたり築いた地盤改良技術はトップクラス。 都市開発を土台から支えています。

SOEIグループは創業以来、地盤改良工事の専門会社としてインフラ整備や都市開発に携わってきました。現在は、長年培ってきた地盤改良工事の技術とノウハウを活かして修繕維持補修、防災・減災・環境保全の分野にまで事業フィールドを広げています。また、十数年来、東南アジアを中心とした海外事業も展開しています。



事業領域と提供価値



数多くの実績と幅広い対応力。

複合的な「力」がSOEIグループを支えています。

SOEIグループは数多くの現場を経験している社員だけでなく工事に必要な機械・機材も有しており、それらの高い機動力を活かし、質の高い施工を実現しています。また、通常は発注者が自ら行うことが多い、工事の管理業務も同時に行うことができます。発注者にとって利便性が高く、幅の広い業務への高い対応力が、SOEIグループの大きな強みになっています。

人 × 技術 × モノ

複合的な3つの力



人
マネジメント力

建設業界では通常、2次下請けの会社は任せられた作業のみを担いますが、SOEIグループは2次下請けの立場の場合においても、有資格者である技術士を数多く有しており、プロジェクトや現場の管理も行えます。



技術
現場対応力

建設業における仕組みやノウハウは、現場にしかありません。SOEIグループは数多くのプロジェクトを手掛けてきたことで、現場におけるリスクや施工ノウハウ、経験知を豊富に有しています。



モノ
豊富な機材

SOEIグループは工事に必要な機械・機材の購入に積極的に投資してきました。人だけでなく現場で必須の機械・機材を豊富に保有することで、より低コストの施工を実現しています。

総合力を発揮した 幅広い事業領域

浅層・中層・深層と地盤改良においてはすべての層にソリューション提供が可能です。



様々な条件が重なる現場で発揮する技術力・提案力

地盤改良工事

薬液注入工法 (ダブルパッカ工法)



特殊注入管(ダブルパッカ)にて薬液を注入し、地盤を強化する工法です。

高圧噴射攪拌工法 (ジェットグラウト工法)



セメント液を高圧で噴射し、円柱状の改良体を造成する工法です。

安心・安全、そして高品質。 満足の施工を実現します。

人々の安心・安全を確保するための建設業に属するSOEIグループが、危険リスクへの対策を怠ることはできません。SOEIグループでは、事前の検討会やシミュレーションによって危険リスクを徹底的に洗い出すとともに、高品質の施工を実現。さらに、毎月の定例会議を通じて情報の共有を図り、技術やノウハウの蓄積を進めています。



1 安全

プロジェクトごとの事前検討会や毎月の会議を通して危険リスクの排除に努めています。



2 安心

社員をはじめすべてのステークホルダーに安心していただけるよう、成長と安定経営に努めています。



4つの約束



3 納期

豊富な人材及び機械・機材を備え、高い機動力を発揮することで、厳しい工期に対応しています。



4 品質

事前検討会や徹底したシミュレーションを行うことで、お客様のご要望に応じた工事品質を実現しています。

設計から管理・施工までワンストップで対応

SOEIグループは施工のみならず、工事の設計からプロジェクトの管理、コンサルティングまでワンストップで対応しています。お客様は通常、作業員や機械・機材及び材料などの手配をそれぞれ行う必要がありますが、SOEIグループに依頼すれば、電話一本ですべての手配を行うことができます。また、必要とあれば、現場の管理や工事のコンサルティングにも対応します。

ヒアリング

お客様からご提出いただいた工事概要の図面をもとに、具体的な工事内容をヒアリングします。

工法検討

図面とヒアリングに基づき工法の検討を行い、工事の計画及び費用の見積もりを提出します。

提案

お客様と詳細な打合せを行い、そのうえで、工事の最終的な設計を提案します。

着工

安全かつ正確な施工を行うために適正な人員と機材を配備し、納期を守り設計通りの工事を行います。

プロフェッショナルの育成を担う SOEIグループ職業訓練校を発足

SOEIグループは、2018年4月12日付をもって、SOEIグループ職業訓練校を設立しました。これは、当社グループのオペレーターに対し、土木建設業に必要な技能や知識を習得または向上させるために行う教育訓練の内、職業能力開発法に定める基準に適合している訓練について、知事に申請して認定を受ける認定職業訓練の制度を活用したものです。

当グループにおいては、これまでの新入社員研修の一環として、双栄基礎工業(株)資材センターの倉庫敷地に仮設教室を設置して行った土木工法の訓練を土台とし、2018年度の新入社員研修における土木施工実習を訓練計画として、管轄の東京都立職業能力開発センターに対する申請が、この度認定されたものです。

土木工法科の認定職業訓練

～培ってきた技術の継承と技能の伝承～

創設間もないSOEIグループ職業訓練校は、2018年度定期採用者13名の第1期入校生を迎え、新入社員研修の一環としてゴールデンウィークを挟んだ11日間、延べ82.5時間に及んだ土木工法科の訓練を終了しました。

今後、当社グループは、職業訓練校の運営にあたり、新入社員研修の一課程に留まらず、新たに開発・導入した土木工法の訓練をはじめ、グループの双栄基礎工業(株)や(株)サナースが培ってきた技術継承・技能伝承の場として訓練課程の拡充を図るとともに、入校範囲を協力企業などへ拡張し、ひいては土木施工の技術者・技能者といったプロフェッショナルの育成機関として、広く建設業界の進展に寄与させていきたいと、その一步を踏み出しました。



プロフェッショナルとして

～最高の技術を提供するために～

チーム行動のなかで、きわめて実践的なOJTを行っています。ベテランが目を配りながら、若手に積極的に仕事を任せ成功体験を積み重ねる。このサイクルを長年繰り返すことで、持続的な戦力アップが図られています。また、建設業においては、特定の資格がないと作業ができない現場がたくさんあります。そのためSOEIグループは作業員の資格取得を推奨。取得した資格に応じて人事や給与に反映させています。施工や管理が行え、さらに現場に基づいた知識を駆使してお客様に問題解決の提案もできる。そうした人材の育成を目指しています。

